**数学科学習指導案**

授業者

指導教諭

平成20年6月19日 (木) 　　第4校持　　１１：４５～１２：３０　　1年4組教室

第1学年　男子19名　女子16名　計35名

1. 単元名　正の数・負の数Ⅱ　「乗法」
2. 指導目標

1. 具体的場面を通して正，負の数の乗法の意味を理解する。
2. 乗法の規則を理解し、それに基づいて乗法の計算ができる。
3. 正，負の数でも乗法の交換法則・結合法則が成り立つことを理解し、利用することができる。
4. 累乗の意味を理解し、式を累乗の形に表すことや累乗の計算ができる。

3.　生徒の実態

多くの生徒は、明るく元気で積極的に発言してくれる。しかし、おしゃべりが多くて、1度話し出すとなかなか止まない。学力に関してはほとんどの生徒が授業についていけるが、まだ正負の数や符号、正負の数の加法・減法に関して理解しきれていない生徒も何人かいるので机間指導等でフォローする必要がある。

4.　指導計画

1章 正の数・負の数Ⅰ・・・13時間

(1) 正の数･負の数・・・4時間

1. 符号のついた数・・・2時間
2. 数の大小・・・1.5時間
3. 確かめよう・・・0.5時間

(2) 加法・減法・・・8時間

1. 加法・・・3時間
2. 減法・・・2時間
3. 加法と減法の混じった計算・・・2.5時間
4. 確かめよう・・・0.5時間

　　 1章のまとめと問題・・・1時間

2章 正の数・負の数Ⅱ・・・9時間

　　(1) 乗法・除法・・・8時間

1. 乗法・・・4時間（本時 4／4）
2. 除法・・・2時間
3. 四則の混じった計算・・・1.5時間
4. 確かめよう・・・0.5時間

　　2章のまとめと問題・・・1時間

5.　本時の指導

（1）主題　　乗法の計算法則、累乗

（2）目標　　①　正，負の数でも乗法の交換法則・結合法則が成り立つことを理解し、利用することができる。

②　累乗の意味を理解し、式を累乗の形に表すことや累乗の計算ができる。

6.　授業展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 指導内容 | 学習内容 | 指導上の留意点〔○〕・評価〔●〕 |
| 導  入 | 前時の内容の確認 | 【学習活動１】  前回の授業のポイントを確認する。  ポイント②  負の数が偶数個　⇒　＋  負の数が奇数個　⇒　－  ポイント③  ①正の符号(＋)をはぶくことができる。  ②はじめのカッコをはぶくことができる。 | ●前回の学習内容を理解しているか。  （知識･理解） |
| 展  開 | 累乗の理解  累乗の定着 | 【学習活動２】  身近なものを使い、累乗について理解する。  <問題文>  厚さが約0.1mmの折り紙を次々と折っていき、紙の厚さを計算する式を立ててみよう。  ・  ・  ・  プリント参照  【学習活動３】  教科書P37の問8を解きながら、注意するべき点を説明する。  ＝16    ※指数が何にかかっているか！  【学習活動４】  教科書P37の問9の問題に取り組む。  P37 問9  (1)  (2)  (3)  (4) | ○折り紙を用意して、問題文の説明をする。  ●課題について関心を持ち、折り紙の厚さを計算しようとする。  （関心･意欲･態度）  ○プリントは穴埋め形式になっているので、正答は適宜板書していく。  ○机間指導をしながら、理解しきれて  いない人などをフォローする。  ●累乗の意味を理解し、累乗の計算が  できる。  （知識・理解）  ●累乗についての計算技能を深める。  （表現･知識） |
| ま  と  め | 本時の学習した内容を整理する。 | 【学習活動５】  本時の学習内容を確認する。  ・累乗の意味、式を累乗の形に表すこと、  累乗の計算を理解させる。 | ○本時の学習内容が理解できたか。 |
| 次時の予告をする。 | 【学習活動６】  次時の学習内容を知る。 |  |

厚さが0.1ｍｍの折り紙を次々と折っていき、紙の厚さを計算する式を立ててみよう(^^)／

　　　　1回折り　**(式)　0.1 ×**

2回折り

3回折り

　　　　　 ･

　　　　　 ･

　　　　　 ･

6回折り

7回折り

同じ数をいくつかけ合わせたものをその数の ①という。

２×２を　 ②と表し、③と読む。

２が２個かけ合わされている

※かけ合わせた個数のことを ④ という。

⑤　　　　　　　を使って紙の厚さを計算する式を表してみると・・・

1回折り　**(式)　0.1 ×**

2回折り

3回折り

　　　　　 ･

　　　　　 ･

　　　　　 ･

6回折り

7回折り